

# ほたての 住民自治協議会だより

機殿住民自治協議会 会報

第1号

2022.3.1 発行

発行:機殿住民自治協議会 広報編集委員会

TEL:0598-59-0351

## — 防 災 —

### 住民自治 協議会

機殿住民自治協議会会長 横井 富夫

先に報告させていただいた様にコロナウイルスにより松阪市住民自治協議会連合会の会合が3月いっぱいまでほとんど全て中止となりました。今回は上記について少し説明させていただきます。

まず、今まで活動していた東部管内防災ネットワークが昨今休止状態で解散することになりました。そして、これとは別に、松阪市住民自治協議会連合会において防災部会が設置されることになりました。(ちなみに連合会には自治会部会が先行しており、この防災部会と共に新たに防犯・安全部会、環境部会が加わることになりました。)

防災部会は、松阪市各ブロックから選出され、海岸部・中央部・中山間部に分け委員が選出されます。機殿は東部ブロックの代表として中央部の役員として令和4年度から出席します。

今、問題として再度検討してほしい事項として、地震による大災害・台風・気候変動による水害に対して、災害



は24時間いつ起こるかわかりません。それに対して各集落として機殿としての初期活動をいかにするか今一度検討して周知徹底しなければと思います。基本的には各人各世帯の自己責任が最も大切ですが、互いに協力出来ること、情報伝達等をわかりやすく整備しておく必要があると思います。

機殿内でも環境条件が違います。行政への要望・避難に対する対策・南海トラフも頭に入れ、再構築が必要です。櫛田川においては、何十年も大平橋問題、かん木の伐採、堆積土砂の除去等と祓川も同様です。

皆様の御協力、御尽力を本当に心よりお願い申し上げます。

## 豪雨災害時の備えと行動をテーマに 訓練の実施に向けて

今年度安全部会スタート時は、新型コロナ感染が比較的落ち着いており、ワクチン接種などが進み防災訓練事業が行われる秋には治まるであろうと、予想と希望を元にスタートしました。

ここ数年、多くの死者を伴う災害が毎年のように起こっています。以前から言われている南海トラフ地震に加え、豪雨による洪水も全国各地で甚大な被害をもたらしています。私たちの機殿地区でもいつ災害が起きるかわかりません。

そこで、今年度安全部会では、「豪雨災害時の備えと行動」をテーマに訓練の実施に向けて部会及び、市防災対策課の方と協議を重ねてきました。

想定していた内容は、第一次避難は町別で行い、第二次避難は小学校、運動場で洪水の基本対策として、土嚢積み体験、体育館での講演会の実施でした。この案を安全部の全体会議で承認していただくつもりが、8月、9月と新型コロナ感染症の感染者が全国的に広がり、三重県でも感染者が急増し緊急事態宣言が発令されました。

結果、部会が中止になり(安全部員には書面にて配付しました)その後も緊急事態宣言の延長となりました。この状況を受けて急遽、会議を開き、今年度の防災訓練



安全部会

全戸配付したランタンライト

事業の中止の判断をいたしました。

防災訓練・講演会は残念ながら開催できませんでしたが、少しでも災害時に活用出来るよう、全戸にコンパクトで明るい『ランタンライト』を配付いたしました。

突然の災害に備えて「避難経路の確認・家族との連絡方法の確認」等“今出来る事”へのご協力をお願いいたします。

新型コロナ感染症のゆくえもまだまだ心配です。感染症基本対策として“手洗い・うがい・マスクの着用”を継続し、感染しないよう気を付けてください。

困難な状況が続きますが、少しずつでも安全部の事業が前へ進んでいけるよう願っています。

# 3つの事業を実施

トウモロ  
部会



2年続きのコロナウイルス感染症により、大変な一年になりました。一日も早い終息を願っております。そんな中で、ジャガイモ栽培、地区内の80才以上一人暮らしの方15名に「シクラメン」の贈呈、小学生(4、5年生)16名でお米作り体験の3つの事業を実施しました。

ジャガイモ栽培については、9月の長雨で芽が出ず大幅な減収となりましたが、「こいしろの里」「学校給食」に使っていただきました。

シクラメンの贈呈では「毎年楽しみにしています」、「3月まで花見出来るでうれしいわ」というお声もいただきました。

4月から行ったお米作りは、コロナの影響もありましたが種まきと田植え、米つきは出来ました。田んぼでの稲刈りは出来ませんでした。学校内でバケツで一人一人が育てた稲は刈り取ることが出来ました。10月には修了証も授与でき無事故で終了しました。

## 一年間の感想をいただきましたのでご紹介します

米の作り方や米のれきしいねのうえ方やいねのとり方を教えていただきありがとうございました。  
(4年)

最初は田んぼにいねを植えて育て、バケツにも植えました。黄色になって、米をたいてもらって給食で食べました。(4年)

ふだんは、食べているだけのお米だったけど、育てるとたくさんのことについて学べました。  
(4年)

お米を作るのには、たくさんの時間がかかるということも教えてもらって、お米のれきしについても知れたのでうれしかったです。  
(4年)

給食で育てたお米が出て、食べてすごくおいしかったです。  
(4年)

最初の田に入ってなえをうえるのが一番楽しかったです。  
(4年)

米を育ててみて、米は大切だと思いました。この事に気づけたのは、米作り体験をさせてくれたおかげです。  
(5年)

ぼくはこんなにお米が手間がかかっていると知りませんでした。  
(5年)

最初は、お米の事をあまり知らなかったけど中川さん達に教えてもらいたくさん知りました。  
(5年)

一番楽しかったことは、田植え体験で素足で田んぼに入ったことです。  
(5年)

みなさんに協力していただいて、米のことをよく知ることができました。これからも米をたくさん食べて成長していきます。  
(5年)

いろいろな発見、初めて見た物、初めてさせていただいたものいろいろがありました。  
(5年)

一番いんしょうに残ったのは最後の米作り体験です。理由は、米の作り方の米をおいしくするための学習だったからです。  
(5年)

見たこともない機械を使えたりできてうれしかったです。  
(5年)

米作りを体験して毎回楽しみにまわっていました。最後のおにぎりもとてもおいしかったです。  
(5年)

お米作りで初めて見た農機具や種まきなど色々な体験させていただきました。住民自治協議会の皆様ありがとうございました。  
(松浦先生)

お米の作り方からお米の歴史まで教えていただきありがとうございました。  
(5年)

## はたどの住民自治協議会だよりに情報をお寄せください

「はたどのまちづくりだより」は、機殿住民自治協議会の活動を地域の皆様にお知らせする広報として発行しています。情報提供していただく場合は、参考資料として活動内容がわかる写真データ等を添えてご提出いただくと助かります。

情報提供は  
こちらまで

各部会の「広報編集委員」もしくは機殿地区市民センター内「広報編集委員会」まで。

TEL : 0598-59-0351